

2010年6月20日

NIE サンディエゴ研修報告書

開催日程： 2010年5月16日(日)～5月18日(火)
開催場所： カリフォルニア州 サンディエゴ
開催担当： アドベンチャーイングリッシュスクール 代表取締役綱脇久美
参加者：
ヘレナ英会話スクール 学院長 松本豊
ジョーンズ英会話スクール 代表取締役 安田浩二
グローバルイングリッシュスクール 代表取締役 小島久美子
アメリカンランゲッジスクール 取締役社長 宮内柄一
トミーズ外語 常務取締役 安東啓子
ワシントン外語学院 マネージャー 岩崎充希子

開催目的：

各教育機関の視察や英語教育並びに留学に関する新しい情報を収集し、NIE メンバースクールで特化した信頼のおける留学プログラムを作り、地域の国際教育活動に反映させる。

研修内容：留学アドバイザー・留学カウンセラーのための研修、現地留学先機関の視察、担当者との意見交換。

<詳細報告>

5/16 (日) 初日

15:45～NIE 会議 開会式 at Sofia Hotel

1. 開会のご挨拶 松本理事長

環境を変えて新しい視点からのNIE研修が開催されることにとても意義を感じます。短い期間ですが多くの情報を得て今後のスクール経営や国際教育に反映できるようよい研修にしましょう。

2. 開催担当者からの挨拶 アドベンチャーインターナショナル代表綱脇久美

Welcome to San Diego!

お忙しい中サンディエゴによろこそいらっしやいました。今回NIEの研修をサンディエゴで開催させて頂けますことに感謝致します。まずはサンディエゴの

すばらしさを感じて頂きたいと思っています。そして日本でどんなに熱く留学や海外経験の良さを語っても伝わらない部分を、ぜひ体で感じてお持ち帰りください。そして皆様の今後のビジネスに大きく役立てて頂きたいと思っております。

3. アメリカ経済と日系企業についてスピーチ

ゲスト 梶 正雄（現地日系企業勤務）

サンディエゴはメキシコとの国境にありメキシコ人の人件費の安さに支えられての日系企業がある。メキシコ人が一日働いて得る収入は平均 55 ペソ（およそ \$ 5）このレベルであれば中国の人件費と戦える金額。ただ、アメリカに入るとたくさんの収入が得られるのでメキシコとアメリカの間に闇トンネルがあり、不法入国をする人々が多い。SONY はサムソンとの価格競争についていけず液晶、プラズマテレビの生産販売については敗退。サムソンは次々に日本企業の技術者をハンティングして日々技術革新が行われている。ただし、3年ほどで技術者は解雇される。

将来子供たちが国際社会で生き残るためには日本の常識は世界では通用しないことを学んでおく必要がある。たとえば規則については「破る人がいるから規則がある。」というのが中国、ラテン系、「規則は守るもの」というのが日本人の感覚。すべては書いて証拠を残しておく必要がある。暗黙の了解は通用しない。今後日本の子供たちは教科書に書いてあることだけでなく、広く世界のことを積極的に知りたいと意欲を持って勉強をして欲しい。

4. スピーチセラピストによる講習会

ゲスト Mrs.Miriam Servetter

英語がわかって何となくコミュニケーションがとれるから、それで良いと思っている人が沢山いる。しかし、正しい発音と的確な言葉を使うことで、より良いコミュニケーションを取れる人になることは、留学生活を送るだけでなく、国際社会で生活をしていく上でも大事になってきます。

今回、Mrs.Miriam に口の開け方、息の出し方などを徹底指導してもらうことで美しい英語が話せる一歩を感じてください。

学校のカリキュラムに発音矯正を導入することで特色ある学校作りに役立てて下さい。悪い発音の癖が付いてしまうと矯正しにくくなりますので、発音矯正は、初級から始めても効果があります。

17:30～ 懇親会



講習会担当者と NIE の面々

5/17（月） 2 日目

1. 9:15～Park Village Elementary School 訪問

Ricardo Cecena 校長と面談

全体で 724 名の小学校

幼稚園から小学校 5 年生までの子供たちが通っている。お誕生日が遅い子供たち向けのクラス、自閉症向け、他国からきている家族の子供たちのために英語クラスが別に設置されている。訪問した時は、丁度学期末で学力テストを実施している期間だった。子供たちは PC の画面に向かってテストを受けていた。年 3 回 **reading, writing, math**, の試験がある。この試験の結果は公開されており、住民はこの試験結果をみて、自分の子供を育てる環境が優れているかを確認して家を購入している。(例えば POWAY という町は、その小学校の試験結果がとてもレベルが高く、また保護者の 80% は、大学を卒業しているということが分かった。)

小学校ですが **Gate Program** といって特進クラスもある。小学校の先生は日本の場合と違ってクラス運営以外の細かい書類作成などはなく、自分で教える学年を選ぶことができる。例えば 4 年生に教えるのが好きな先生はずっと 4 年生ばかりを受け持って 4 年生のプロ、小さい子供が好きな先生はずっと小さな子供を担当していいことになっている。また代講制度がきちんとあるので、先生は、自分の子供の学校行事にも出席できる仕事環境になっている。



小学校の図書室にて



校門の前にて記念ショット

2. 10:45～<教師宅ホームステイプログラム>について

ファミリー宅訪問 Mrs.Dekker

Mrs.Dekker にご自宅を案内してもらった後、綱脇先生より教師宅ホームステイプログラムについての話を聞く。

英語を学んでいる方々の一つのステップとして、このホームステイプログラムを検討して欲しい。アメリカの日常生活（特に中流階級以上）のみならず不動産のこと、病院関係など訪問者の興味があるものについての様々なリクエストに応じていくことが出来るプログラムになっている。一家族に一人のホームステイを約束するだけでなく、望むスタイルをリクエストすることができる。



教師宅ホームステイ家庭訪問



リビングルーム



ベッドルーム



裏庭のプール

3. 14:00～EF（語学学校） Academic Director Theresa Blian

Alliant University 訪問

サンディエゴで一番美しい場所ラホーヤの海岸沿いにある学校。日本でのサポート体制がしっかりしている語学学校。ここで学んでいる生徒たちの多くは、ヨーロッパから来ている。中東特にサウジアラビアからの学生もとても多い。大学のキャンパスの中にあるながら、校舎自体がプレハブ作りであったのが、少し気になった。

5/18（火） 3日目

1. 9:15～ELS(語学学校) 訪問 Academic Director Jim Scofield

サンディエゴのダウンタウンのビジネス街にある語学学校。SOPHIA ホテルから歩いていける場所にある。いわゆる語学学校だが、日本に事務所がないので直接日本で様々な情報を得ることは難しい。そのために日本人の比率が低いようだ。また年齢層も 24～30 歳が多く、サウジアラビアからの学生が多いと言われた。

一日のサンプルスケジュールは以下の通り

午前中	4 レッスン	Structure Speaking	2
		Reading Writing	2
		Lab	1

午後 2 レッスン 午後は TOEFL, Film など自由に選択して勉強。

4 週間単位で受講ができ、まじめにきてもらえればきちんと TOEFL のスコアをあげて大学へ正規の学生として入学ができる。

たとえば 109 点レベル Paloma, Grossmont, Miracosta, GIA

1 1 2 点レベル UC Northridge, National University

サンディエゴ以外にもカレッジを探す手伝いをする。習慣や生活に慣れて更に次のステップとしてアメリカの大学に進学するにはとてもよい環境である。また、OL さんたちが勉強をするだけでなく、アクティビティを楽しみながら色々な国の人たちと交流をしてリフレッシュするにも、ベストな大人のための語学学校と言える。ただし、TOEIC コースはない。

訪問の印象：

EF に比べると清潔な感じがする。オフィスビルの2フロアにある語学学校で、受講している学生たちも大人が多いと感じた。ダウンタウンにあるので色々な意味でとても便利。ただ、キャンパスライフではないので、アメリカの大学に留学しているという気分は味わえない。たとえば、広いフィールドがあって、テニスやサッカーができる、プールがあってスイミングが出来るといったリクエストには応えられない。

2. 10:30～University of San Diego 所属 English Language Academy 訪問

Director Jennifer Preimesberger

私立のカソリック系大学。訪問した場所は、その大学付属の語学スクールと大学キャンパス。高台にあるとても美しいキャンパスで、付属の語学スクールは大学の建物とは別に建てられている。語学スクール内には特別なコースが設定されており、サマーキャンプなどのプログラムもある。もちろん、カソリック教の教えがもとになった大学だが、宗教は自由で礼拝などの強要はない。

訪問の印象：

とても美しいキャンパスですばらしい設備が整っている。建物が美術館とも思えるほどのものでキャンパスを案内されていても有名な庭園を歩いているようだった。ディレクターの方が日本の聖心女子大学との交流の話をしていたので、ハイレベルの層の方々との交流が可能だと感じた。とにかく。清潔で美しく、そしてハイセンスな感じで、アメリカの金持ちの子弟が行く大学というイメージがある。清潔で美しい環境で教育を受けさせることが大切という大学の理念が反映させていて、各界の著名人が寄付して建てられた学舎が沢山あった。



語学学校玄関口にて 英語コースの具体的な説明会

3. 15:00～San Diego State University 訪問

Senior Director Patarick F. Colabucei

州立の大学で、どこからどこまでがキャンパスか分からないほど広い敷地にある。敷地内に駅やバス停もあり、電車やバスで行き来ができる。ビジネスプログラムは全米で15位に入るほどの高いレベルのプログラムがある。付属の語学スクールには Intensive Business Teachers などのプログラムがあり、レベルが106あれば先生からの推薦状をもらってアカデミックコースを受講することができる。

クラスを修了すると TOEFL 免除で SDSU 大学に入学が可能。

日本人留学生で Tomomi Tsunoda (SDSU の学生であり Student center で仕事をしている方と留学についてお話をする時間をとってもらった。

Tomomi さんの留学の履歴については以下の通り。

埼玉県の出身。

高校時代 AYUSA の高校留学プログラムを使って交換留学を経験。高校自体が国際交流の盛んな高校でアメリカ留学をしても単位を認めもらえる。

高校を卒業後、アメリカの大学に進学を希望して一年間東京のヒューマンの留学準備コースに入学。(一年間で約120万円の授業料)

グロスモントコミュニティカレッジに留学(ここでは旅行業務を学ぶつもり)2年間で卒業するための単位を取得する。

途中で大学への編入を希望したため、トランスファのための単位取得にきりかえたので3年かかった。その後、SDSU へ編入。ここでは情報マネジメントを学ぶことになる。現在12月の卒業を目指してがんばっている。

卒業後はアメリカで就職を希望している。大学を卒業するともらえる OPT という特別なビザ(1年間会社で働くことができるビザで\$300の取得料がかかる)語学学校に行く利点は環境になれて、語学が上達して大学生活をスムーズに送

れることだと思う。

留学を成功させるためには、自分が信じていることに自信を持つことだと感じている。文化の衝突や意見のやりとりにへこたれず、自分をしっかり持つことが大切。積極的にコミュニケーションをとっていかないと誰もかまってくれない。自分の強い意志で留学していない人(親に勧められてきている人)や、日本に未練がある人は、留学は成功しないと思う。

4. 16:30～SDSUのカフェで今回の視察の総まとめ

綱脇先生から

今回合わせて4つの大学および語学学校を見学しました。それぞれに個性があり、どれが一番いいとは断定できません。今回の視察および研修で大切なことはまず、皆さんの英会話スクールで留学を勧めることに「経済的な効果」があるということです。それはアメリカからのコミッションが入ること、そして生徒さんが留学するという事で高いモチベーションをキープして在籍期間を長く取ることによってスクールの収入増につながるといった極めてわかりやすい形での経済的効果です。

送り出した生徒さんからクレームが上がるような留学や研修は手間もかかりま
すし、スクールの信用にも関わってきます。留学アドバイザーとしては

1. 留学する先のカリキュラムやサポートがしっかりしているか
2. 建物、立地条件などが留学希望者の条件に合っているか
3. コミッションシステムがきちんとあるか

この3つをきちんとチェックしてください。また、サンディエゴは観光地ですから **activity** についてはどこの学校に留学してもとても楽しめます。

順位としては現地のサポート力は

- ① San Diego State University, ②University of San Diego ③ELS ④EF

カリキュラム力は

A ランク SDSU USD C ランク ELS EF

日本サイドのサポート力は

- ① EFのみ

サンディエゴは福岡に似ています。サンディエゴの方が規模も人口も大きく都会です。気候が常に一定でよい。そこそこに自然と都会が混じり合って観光地としても全米屈指で、ダウンタウンも比較的安心して楽しめる。初めて海外で勉強をしたいと思った人たちにはとてもよい環境です。しかもサンディエゴで

は、私の会社アドベンチャーがサポートします。現地での事は対応しますので安心して送り出してください。それぞれのスクールから情報をきちんと頂きさえすれば、その生徒さんにあった留学のルートを作ります。できればバラバラ送り出すのではなく、今後ビジネスとしてよりメリットがあるように集中して一つの所に生徒さん方を送り込んで、太いパイプを作っていくのも一つの方法かもしれません。NIE のメンバーのスクールは、その地域で柔軟に生徒さん方のニーズに対応出来るスクールとしてより発展していくことが出来ると思います。大急ぎでしたがサンディエゴのよき、海外留学についてそして今後のあらゆるビジネスの可能性について感じて頂けるようスケジュールをこなして頂き感謝致します。ありがとうございました。

17:30 視察終了



キャンパス風景

キャンパス内視察

以上

原文作成： 岩崎充希子
文責： 松本 豊